



《病院で働く職種紹介》 第2回目は臨床工学科です

「臨床工学」とは医療現場で利用する機器の操作に必要な知識や技術、機器を利用する際に発生しうる問題等を研究する医学分野のことです。私たちは益々増大する医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。

人工透析業務では治療の準備、血液の出入口を確保するための穿刺、治療中の状態観察、治療の終了と止血、装置の消毒といった一連の業務を任せて頂き、より患者様に近い存在となっています。また透析治療中の装置トラブルや患者様の急変に対応すべく、日々鍛錬を重ねています。

人工呼吸器業務では転入前からのスタッフ教育と打ち合わせ、当日のセッティングと適宜行われる搬送を看護師と共同で行い安全確保に取り組んでいます。

他にも院内で利用している医療機器の日常点検ラウンドで、病棟スタッフと情報交換を行える環境を作っています。お気軽にお声掛けください。



臨床工学科 山中

病院長 福田啓能ご挨拶

新型コロナウイルス（Covid-19）が巷を席卷し、多くの尊い命が失われています。エチケット違反や社会的ルールを捻じ曲げる行動をとり、個人主義を主張している光景を目にすることもあります。先の見えない恐怖と不安の中で苦悩する結果かもしれません。特異的な治療法がないCovid-19に対抗するにはワクチン接種の選択肢しかありません。しかし、ワクチンを健康者に接種する場合には、副作用が心配になりすぎて「接種拒否」が起こります。「人間は得られるものは失いたくないが、副反応のような損失は何とか減らしたい」という「心理学的なクセ」があり、これはプロスペクト理論（ダニエル・カーネマン）における「損失回避」と呼ばれています。副反応が強調されすぎるとワクチン接種を避けたい人が増えて、 α 、 β 、 δ （デルタ）、 $\cdot\cdot\circ$ （オミクロン）の猛威の一因になっているかもしれません。Covid-19に始まって今年度、まだまだ終わりそうにないCovid-19。

『僕の前に道はない/僕の後ろに道は出来る/ああ、自然よ/父よ/僕を一人立ちにさせた広大な父よ/僕から目を離さないで守る事をせよ/常に父の気魄を僕に充たせよ/この遠い道程のため/この遠い道程のため（高村光太郎「道程」）』

感染防御に努めましょう。春はすぐそこまで来ています。

看護部長 細谷和子ご挨拶

4月から医療法人協和会“第二協立病院”に入職された皆様、おめでとうございます。例年なら心弾む春到来ですが、現状は昨年同様にコロナ禍で世界中が大混乱な状況です。しかし私たちは対策を日々考え工夫して、一時中止や延期となった研修をWEB開催へと、企画変更し実施できるようになりました。

このような社会的状況においても、私たちは“歩”を進めてまいります。

院内の感染対策を確実に実践するため、ICTと各部署のリンクナースが連携を取り、スタッフに対し感染の知識・技術をOJTで学ぶことを、今まで以上に支援してまいります。2020年度は、本当に忘れられない1年でした。

2021年度は、看護部理念「豊かな心・こころの看護」を基軸に多方面に働きかけ、

皆様の心からの笑顔が見られるように活動してまいります。

今後もご指導いただけますよう、よろしく願いいたします。



医療法人協和会 第二協立病院

- 産婦人科外来（予約制）
- 産後リハ（予約制）
- 小児科外来
- 母乳育児相談（予約制）
- 小児科予防接種（完全予約制）

当院は産後ケア事業を導入しています

回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟、障害者病棟、透析センターに加えて、産婦人科外来、小児科外来を含めた425床の病院です。

〒666-0033 兵庫県川西市栄町5-28 TEL:072-758-1123

詳しくはこちら





コロナニュース

2021年12月 当院にてクラスター発生 2021年3月9日 クラスター全館収束宣言
※全職員の帰省や外食、外出の自粛をはじめ院内外での感染対策を行ってきました。



新入職者の意気込み・挨拶



令和3年4月、第二協立病院に入職致しました、看護師17名。

コロナ禍の中、看護師として働くことを前向きに捉え、これから先輩方のご助言を頂きながら、自己学習や技術練習も積極的に行い、市民の皆様に信頼され、お役に立てる看護師になれるよう、一生懸命頑張りたいと思います。

言語聴覚士 新井聡美

国家試験に無事合格し、いよいよ言語聴覚士としてスタートすることができ、とても嬉しい気持ちです。私は臨床総合実習の際、第二協立病院で1か月間勉強させていただきました。その際、様々な身体・精神状況、家庭環境にある患者様に対し、1人1人の心に寄り添ったリハビリテーションを行う先生方を見て「私もこんな言語聴覚士になりたい」という気持ちが強くなりました。患者様やご家族、病院スタッフの皆様から信頼される職員になることができるよう、日々学ぶ姿勢を怠らず精進したいと思います。

検査科 田中千春

4月より臨床検査技師として勤務することになりました田中千春です。

様々な検査業務が学べて自分の興味がある分野の勉強もできる第二協立病院で勤務することができてとても嬉しいです。社会人としても検査技師としてもこれからですが、先輩方のご指導の下、早く仕事を覚えて業務を任せられるように頑張ります。まずは一つ一つの検査を正確に行い、患者様が安心して検査室に来られるような雰囲気作りを心がけていきたいです。宜しくお願い致します。



作業療法士 松本絵里奈

医療法人協和会に入職し、無事に社会人としてスタートを切ることができ、やる気に満ちています。たった1年間で日常が普通ではなくなったり、人と人とのつながり薄くなってしまったこのコロナ禍で、相手の気持ちを考えて心に寄り添った支援ができる医療従事者になりたいです。1日も早く協和会、第二協立病院の戦力になり、患者様に「あなたに担当してもらって良かった」と思ってもらえるような作業療法が提供できるように誠意をもって真摯に頑張りたいです。

社会福祉士 大西陸哉

学生生活を終えて、相談支援専門職として働いていく中で自分の行動に責任を持ち、患者様と真摯に向き合っていて安心して入院生活を送っていただけるように頑張ります。

また、「この人なら頼っても安心」と思ってもらえるような社会福祉士になる為、日々努力を絶やさずに行きますので、まだまだ未熟ではありますが皆さんよろしくお願い致します。

事務長 小田政司ご挨拶



新入職の皆様 ご入職おめでとうございます。

昨年に引き続き、コロナの影響により入職式・入職後の研修等は例年と異なる対応をせざるを得なくなりました。新入職員の方々は不安な気持ちでは無いかと危惧しておりましたが、元気な笑顔で前向きに研修に取り組んでくれておりましたので安心しております。

第二協立病院の新しい仲間として、患者さま・ご家族をはじめ地域の皆様に安全に医療が提供できるようご協力宜しくお願いします。

免疫力を高めよう！～【腸活】のススメ～



食物の消化・吸収・排泄を担っている『腸』は、ウイルスや細菌が体内へ侵入するリスクが最も高く、また免疫細胞の約70%が集まっている場所でもあり“免疫力を高める=腸内環境を整える(腸活)”と言えます。腸活に必要な栄養としては①発酵食品(善玉菌を増やす)②オリゴ糖(善玉菌の餌になる)③食物繊維(蠕動運動を促す+善玉菌の餌になる)④蛋白質(白血球や筋肉の材料)⑤ビタミン類(抗酸化作用+粘膜保護)などがあり、この時期のお勧め食材としては「納豆」「ヨーグルト」「みかん」「バナナ」「キウイ」「りんご」「人参」「干し柿」「ナッツ」「キムチ」「緑茶」などです。食事以外でも、睡眠不足やストレスは免疫力を低下させる為、心と身体の休養も大切ですね。この冬は【腸活】を意識した、バランスの良い食事を心掛け、コロナやインフルに負けない身体づくりを目指しましょう！

管理栄養士 飛川

